



野生植物研究所だより



● 羽黒山のヒガンバナ その後 …… 花 まだ残っています ● ～ 1種類の花を日を追って見ると、新しい発見も ～

撮 影 日	羽 黒 山 公 園 の 様 子
9月21日 二分咲	
9月28日 満 開	
10月10日 一部を除いて ほぼ終了	
10月24日 蕾のもの4本 開花中のもの4本 計8本のみ その他全て終了	
10月30日 蕾のもの2本 開花中のもの5本 その他全て終了 7本のうちの3本→	

野生植物研究所だより第33号に「羽黒山のヒガンバナ」という見出しで、大崎市古川小野・羽黒山公園のヒガンバナの開花の様子を紹介しました。9月21日二分咲、9月25日五分咲、9月28日満開、10月2日満開時の花の鮮やかさが消えてしまった状態のものを写真で紹介したものでした。

今年は羽黒山のヒガンバナが咲き始めたのは9月14日でした。9月14日に観察した時には、花茎が伸び出し、あと数日もすると花が咲き出しそうなものが沢山見られましたが、その中に2本だけ花が咲き出したものがありました。

さて、羽黒山公園のヒガンバナの花の全てが咲き終るのはいつなのか・・・それは、まだ分かりません。といいますのは、10月10日には葉も7cmほどに伸びてきて、花も一部に見られるだけになり、今年もあとわずかで全ての花が見られなくなるのだと思っていました。ところが、生えている場所によって、かなり開花する時期が違い、現在も7本だけですが、花の咲いているものもあれば、蕾のものもあるのです。不思議ですね。

注意して観察すると、いろいろとおもしろいことが分かってきますね。